

## 東京・丸の内を始めとする、三菱地所グループならではの多彩な開発ノウハウの活用へ 中国の大手デベロッパー「万科企業」と戦略的提携協議書を締結

三菱地所株式会社は、中国の大手デベロッパー「万科企業（Vanke）」と戦略的提携協議書を締結しました。中国の一大経済圏で成長著しい長江デルタの「華東地域」における不動産開発プロジェクトについて、長期的な戦略的提携関係を確立します。当社はオフィス・商業施設など多彩なアセットの開発ノウハウを、万科企業は中国でのプロジェクト推進ノウハウを提供し、更なる共同プロジェクトの機会獲得を目指すほか、人材交流の機会を設けるなど、両者の強みを活かした成長をねらいます。



▲ (左) 三菱地所 執行役常務 なかじま あつし 中島 篤 (右) 万科企業 集団高級副総裁 兼 上海区域本部首席執行官 Zhang Hai 張海

### 締結内容の概要

- ・ 華東地域を中心とした中国国内でのプロジェクトについて、投資機会の共同検討を定期的実施する。
- ・ 互いに研修他交流を行い、両社の不動産事業に関する知見を交換する。

中国では近年、駅などの交通拠点と一体となった複合開発事業が多く見受けられるほか、経済成長に伴う高いオフィス需要が存在しています。東京駅前の丸の内エリアで長年手掛けてきた街づくりや多彩なオフィス開発、きめ細やかな不動産管理のノウハウなど、当社グループの強みが万科企業に高く評価され、今回の提携に至りました。

万科企業は、中国国内の様々なエリアで、住宅開発の他、オフィス・商業他複合施設、医療・老人福祉、教育、再開発等の多様なアセットタイプの開発・運営を行っており、多様なネットワークを有します。両社の強みを活かすことにより、共同プロジェクトにおける一層競争力の高い物件の供給を目指します。

三菱地所では、中国国内において住宅開発や物流事業など、様々な開発プロジェクトを進めてきました。昨年9月には、当社グループとして同国初となる浙江省杭州市でのオフィス等の複合開発「奥体万科中心」に万科企業と共同で参画するなど、豊富な開発ノウハウを活かす案件への積極的な参画を進めています。本提携をきっかけとして、今後さらなる優良案件への参画を加速させていくとともに、日本・中国を代表するデベロッパーが協業することにより、両国における不動産開発の更なる進化を目指していきます。

## <万科企業 会社概要>

1984年の創業以来、30年以上にわたり中国全土の不動産開発・住宅関連サービスを提供している。2017年にはFortune 500に選出された中国大手不動産デベロッパーの一社。主要な事業領域は分譲住宅・商業施設・物流倉庫・賃貸住宅・オフィス・ビジネスパーク・リゾート開発・老健施設・教育施設の開発・運営。

# vanke

## <三菱地所グループと万科企業の共同事業>

### 【三菱地所レジデンスによる住宅事業】南通市港閘区プロジェクト



所在地	江蘇省南通市港閘区長泰路東、新華路北
建物用途	低層住宅、中高層住宅
延床面積	約160,000 m <sup>2</sup>
総戸数	約1,100戸(予定)
着工	2018年5月
竣工	2020年(予定)

### 【三菱地所レジデンスによる住宅事業】無錫市梁溪プロジェクト



所在地	江蘇省無錫市梁溪区南長街港務路西南
建物用途	高層住宅、商業施設
延床面積	約190,000 m <sup>2</sup>
総戸数	約1,100戸(予定)
着工	2018年9月
竣工	2020年6月(予定)

### 【三菱地所によるオフィス事業】奥体万科中心プロジェクト



所在地	浙江省杭州市钱江世纪城A-07(2)地块
建物用途	オフィス・ホテル・商業施設
構造規模	RC造 地上22階地下2階建
延床面積	95,318 m <sup>2</sup>
着工	2018年8月
竣工	2021年3月末(予定)